

大島文学 ・紀行集 『絵画編』 頒布

【大島】大島町は7月1日、「伊豆大島文学・紀行集」の最後となる4巻目「絵画編」を発売した。
同集は平成28年度から今年3月までに『詩歌編』『小説編』『紀行記編』の3巻を発売している。

三辻利弘大島町長は発売によせて、「大島の文学・紀行集の集大成がここに完結となり、後世への財産となってくれることを願う」と述べた。

芸術家の作品を紹介していますので、興味をもって愛読願いたい」と話した。

▽頒布額Ⅱ「絵画編」は3500円。

▽販売場所Ⅱ町政策推進課、町各出張所、町郷土資料館。

問い合わせは町教育文化課社会教育係 ☎049922②1453。

「大島を訪れた多くの

大島の郷土史家たちが代を重ねながらこれまで引き継いできた「伊豆大島を訪れた文人墨客の紀行文や絵画作品資料」を冊子にまとめるという大島町の文化事業は平成26年からスタートした。

明治期から戦前にかけての今では知らないができない「島人の暮らしぶりや、芸術家が島の何に興味を持って書き留めたのか」といったことを多くの資料を掲載することで明らかになりたい、そう考えて編集を続けてきた。

伊豆大島文学・紀行集 4巻シリーズついに完結

編集員 藤井 虎雄

より広く深く掘り起こす資料調査に2年を費やして、平成28年からこれまでに3巻を発売した。

シリーズ最後の第4巻「絵画編」には絵画の作品は迷うことなく

てしまわないように、1ページの一文を書いて載せようとした。振り返ってみると、置かれた当時の環境だったり書き加えるこ

伊豆大島文学・紀行集 絵画編



伊豆大島文学・紀行集「絵画編」

もらえたので、このチャンスを生かして何とでもやり遂げたいという「使命感のようなもの」に引張られて6年も集中してやってこられたと思う。

このシリーズ4巻組の「大島の宝物」には文人墨客424人の作品が収録されており、総ページ数は2733ページに達している。

文人墨客の足跡の全貌はかなり鮮明になったと思う。大島を訪れた芸術家の作品を多くの方に手に取って見て知っていただきたい。本にまとめる事業で終わることなく、この作品群を生かす道、この宝物を島のためにどう有効活用してゆくの

か、大島町の新しい着想で更なる道を切り開いて欲しい。